

## 平成 21 年度 第 3 回子育て・環境・魅力づくり部会

□開催日時 平成 21 年 6 月 22 日（月） 午後 6 時 30 分～8 時 30 分

□会 場 幸区役所プレハブ会議室

□参加委員

専門部会 B 委員：神谷副部会長、酒井委員、佐藤委員、庄司委員、沼田委員、深瀬委員、  
松脇委員

事務局（企画課）：渡邊課長、高相課長補佐、蓬田課長補佐、小出主査、齊藤職員、小俣職員

夢見ヶ崎動物公園：柗園長

□議 題 1 「地域コミュニティ活動の推進」について

2 その他

□開会

司会：渡邊課長

- ・渡邊課長が開会のあいさつをしました。
- ・会議の公開について、委員の了承を得ました。

進行：神谷副部会長

### 1 地域コミュニティ活動の推進について

(1) 夢見ヶ崎動物公園の概要（柗園長によるお話）

配布資料「夢見ヶ崎動物公園現況図」と「夢見ヶ崎動物公園管理状況等について」に基づき、柗園長が夢見ヶ崎動物公園の概要を話しました。主な内容は以下の通り。

#### 【現況図について】

- ・数年前に境界をさらえる範囲でさらって杭を確認した線である。
- ・真ん中を通っている道路が公道なので、前後に門を設けることができない。
- ・了源寺の北側に公園があり、ここは中部公園事務所が所管している。慰霊塔の下の公園は、夢見ヶ崎動物公園の管理である。

#### 【管理の状況等について】

- ・年間の管理スケジュールはない。樹木伐採、施設や道路の補修は、危険な場合、壊れた場合、要望があった場合に随時受け入れ、予算と勘案して実施している。
- ・樹木の管理は、年間 100 万円をかけている。それ以外に、公園緑地協会から苗や花など 20 万円かけてもらう。
- ・清掃活動は企業組合労協センター事業団へ委託している。
- ・他に個人やグループとして、加瀬山の会が月に 1 回管理活動をしている。個人のボランティアは、毎日くる人、季節に応じてくる人がいる。動物が住んでいる側と、ゲート周辺の花壇や植栽、草刈り、樹木剪定など、それぞれに得意な分野を管理している。
- ・どういう人が入っているのかの全容は把握できていない。今年の早い段階に個人や団体を整理するため、ボランティアに声をかけて名簿の作成を進めている。
- ・団体は加瀬山の会が中心で、他に大きな団体は入っていない。
- ・売店は公園緑地協会から柏屋へ委託している。
- ・イベントは、市が実施するものと市以外が実施するものがある。

- ・いろいろな団体が来て、見て帰る、調べて帰ることがある。古墳の会、歴史を訪ねる会、写真を撮影する会などが来る。特定の会が毎回来るのではなく随時来る。毎年必ず来る団体としては、多摩夢崖線の会があり、年に1~2回来る。
- ・個人で写真を撮りに来る人は多数いる。
- ・広報として独自に「ゆめみにゅーす」を年に4回、200部発行している。小学校と夢見ヶ崎近隣の店舗等に配布し貼らしてもらう。また、市政だよりにイベント情報などを掲載している。
- ・かわさきエフエムは、毎月第3水曜日にアクセスかわさきという番組があり、その中で5分間放送する。
- ・駐車場の警備、夜間警備は警備会社に委託している。以前事件、事故があり警備を入れた。通常は夏場だけ夜間警備を置いている。

## (2) 意見交換

(神谷副部会長) もっと知りたいこと、園長さんに聞きたいことがあれば聞いてください。

(石野委員) 日吉出張所から上がる道の歩道の木の根っこは直す予定はありますか。大変歩きにくい道路です。

(柁園長) 道路は建設センターが所管ですので、話は聞いていません。動物園が管轄している部分については予算を取ってやらないといけません。建設センターに確認してみます。

(神谷副部会長) 木の根で敷石が盛り上がっています。

(柁園長) ローターリーからは公園敷地ですが、駐車場から下は公道なので、建設センターが管轄になります。本来、木は木、歩道は歩道にしないとイケませんが、スペースがありません。樹齢がきて枝も傷んでいるので、あと二十年くらいでだめになるかもしれません。

(石野委員) 放置されたオートバイがあるなど、歩きにくい歩道です。それを何とかしないとイケません。

(佐藤委員) 公園をどういうコンセプトで管理していますか。

(柁園長) 100万円では管理できません。現状では、危険箇所の枝の切り落としのみです。カラスの巣の駆除などをすると30万円はかかります。危ないものについては、台風前に早目に落とします。それしかできないのが現状です。施設の補修にもお金がかかります。ベンチにも予算がまわりません。

(佐藤委員) 環境局と話し合っ、要望を出すなどはないのですか。

(柁園長) 以前は中部公園事務所に予算がついていましたが、夢見ヶ崎公園独自に予算がついたときにこの金額でした。樹木の剪定も業者委託で、自前ではできないので厳しいです。公園内の木の数、量、種類などはわかりません。造園職の方に来ていただきたいです。造園職の人を置いてほしいと要望はしています。事務の担当主査が公園全体を管理しています。予算的にも、技術的にも厳しく、加瀬山の会やボランティアにお任せしている状況です。

(神谷副部会長) 長く続けるには、ボランティアや個人にお任せでは難しいです。年配の人が多いので、いつまでもその人たちには頼めません。

(庄司委員) 中部公園事務所など公園事務所には樹木の専門家がいます。そこと連携して、公園全体の樹木をどう管理するのか考えたほうがよいです。背が高くなり屋根ができて暗いところがあります。加瀬山の会や個人のボランティアも含めて、同じ方向に向かって役割分担をしていけるとよいです。いまはそれぞれが考えてやっています。同じところをやるのではなく場所を分けて、

でも一定の方向性を持てるようにできるとよいです。そのためには、どういう方向で管理をするのかコンセプトを持たないといけません。

(神谷副部長) この会議では、どうやって行きやすくすればいいかいろいろ意見が出ています。公園側としては、どのような意見が必要になるのですか。私たちの要望だけでなく公園側の要望も一緒になると、また違った方向が出ます。

(酒井委員) 公園側は、現状では動物のことしかできないでしょう。

(榎園長) 職員は16名です。現場を担当している正規職員は9名しかいません。たまたま人数が多いときには公園の作業もできますが厳しいです。

(酒井委員) 樹木が伸び放題になって、台風などで自然に落ちることしか考えていません。

(神谷副部長) 里山でも手を入れないと森がだめになるのと同じで、夢見ヶ崎公園も見極めて、手を入れないといけません。

(酒井委員) 神奈川県では基金でお金を募集してやっています。

(神谷副部長) 数字を見ると、公園管理の費用はこの程度の金額なのかという印象です。

(庄司委員) 個人ボランティアは何人いますか。

(榎園長) 把握しているのは5人程度です。われわれがいないときにやっている人もいるので正確にはわかりません。

(酒井委員) 一生懸命やっている人もいるし、ぶらっと来て手伝ってくれる人もいます。

(松脇委員) 慰霊塔は何を慰霊しているのですか。

(榎園長) 戦没者の慰霊です。以前は8月15日に市長が来て慰霊祭を開いていました。

(事務局) 慰霊祭は現在でもしていますが、あそこではやらなくなりました。高齢の方が増えてきたので、時間と場所を考えてやろうということになりました。平成15年くらいから場所を変えています。

(松脇委員) 塔だけあるのではだめです。

(佐藤委員) 高齢者が行けるようにしないとダメです。

(松脇委員) 若い人につなげていくためにも、きちんと慰霊しないとダメです。

(榎園長) 7月と8月のお盆にお花を供えている人が何人かいます。

(酒井委員) 今生きている人が慰霊をすれば、次の代の人にもします。やらないと風化してしまいます。

(佐藤委員) 企業組合労協センター事業団とは何ですか。

(榎園長) 詳しいことは調べていません。この事業団が事業そのものを受けていて、高齢の人が多いです。

(松脇委員) 動物園祭りや飼育の日はどんなことをしますか。

(榎園長) 飼育の日は今年からです。動物園祭りはチラシを配ったり、プレスに情報を投げており、事務処理に2、3ヶ月はかかります。当日の運営は慣れているので大変ではありません。全員が出勤しないで、ローテーションの中で対応できます。ボランティア、加瀬山の会、学生、職員の家族などに手伝ってもらいます。動物園としての手間は大きくはありません。毎年、午前と午後のカウントして、少ない時で、5,000人、通常は7,000~8,000人は来ます。年間で2回やるので、15,000から16,000人はきます。年間入場者数は平均20万人なので、8%くらいが来ることになります。今年は、花見の人出は多かったです。

(佐藤委員) 昔は慰霊塔の前で薪能をしていました。高橋市長のときにはやっていました。

(榎園長) 5年くらい前まではやっていました。

- (酒井委員) ここまで足の便が悪くて来ないのではないですか。
- (佐藤委員) 抽選で当選しないと来られません。
- (沼田委員) 駐車場を直していますね。
- (柗園長) 駐車場の擁壁の工事に入り、秋から使えなくなります。台数はこれまでと同じ数を確保します。混雑時は100台あっても足りないでしょう。野毛のようにすべてなくすという話も出ました。最低限どうしても車でないと登れない方、高齢の方、障害の方が乗っている場合は車でもいいですが、そうでない人は歩いてきてほしいという議論をしたこともあります。線引きが難しいです。障害者は車イスでわかります。
- (沼田委員) 桜の時期は一方通行になり、ガードマンがいますがしまいには喧嘩をしています。
- (柗園長) ガードマンには上がる車も並べさせずにとにかく上に行かせて、行けない車は他に行かせて片側だけは確保するようにと指示していました。警備員の制止を無視して降りてしまう車もありますので、マナーの問題です。
- (松脇委員) 野毛は大道芸人に大勢の人が来ます。区民だけでなく集客力がある新しいイベントのアイデアはありますか。
- (柗園長) 動物園は動物を見てもらうのが基本で、そこをはずさずにかかないとテーマパークになってしまいます。水族館と動物園は似てまったく異なるものです。水族館はショーがメインです。動物園はショーはメインではないです。入場料も動物園は安い。動物園をショーの場にしたいくないというのが、動物園を預かっているものの総意です。そうすると、珍しい動物を入れることとなりますが、それは財力のあるところが勝ちます。それには挑めないで、最低限与えられている予算の中で、動物たちを健康に保ちながら、楽しみながら見てもらいます。この動物を見てよかったと思って帰ってもらうことが一番のサービスだと考えています。イベントをすれば、動物とはまったく関係のないものに場所を提供はできます。そのときに、動物園も見てもらい帰ってもらいます。
- 動物園祭りではバンドを呼ぶなどしますが、それ以外はしません。以前、獅子舞をやろうとしましたが、獅子を持って歩いただけで動物が暴れました。獅子の頭が異様だったようです。
- (酒井委員) 動物を大事にしないといけないので、それができない内容は良くないですね。幼稚園、保育園、小学生が対象でしょう。遠くから来ています。動物をかわいがることは良いですし、喜んで帰っていきます。
- (柗園長) 無料でいつでも来られること、子どもたちがそばで動物を見ることができることがメリットと飼育員はわかっています。
- (佐藤委員) 草食動物は珍しいと宣伝しているわけですから、もっと欲しい動物はいるのですか。
- (柗園長) 手に入らないです。狂牛病などが入ると国内に広がります。蹄のある動物の移動は制限されています。へら鹿が2頭いますが、もう入れることはできません。動物園内で生まれたものは可能ですが、新しい動物は厳しいです。
- (庄司委員) 騒々しくなく落ち着いた形で触れ合えるものを置いておくということですね。先日は、一緒に歩きながら説明してもらって、大変良くわかって面白かったです。ガイドボランティアがいてもいいと思いました。
- (柗園長) 以前、仕掛けたことがあります。ブログに書いてくれる人にあつまってもらいました。常時お願いしないといけないのと、物好きな人でないと勉強しようという人がなかなかいません。時間のある学生、獣医など動物関係の学生をターゲットにしてもいいですが、ずっといるのは難

しいです。動物園祭りでもガイドツアーをすると 4~50 人が歩きます。飼育係りはしゃべるのがうまくなりました。

(酒井委員) OBの職員に手伝ってもらっては。

(榎園長) まだお若いのでもう少し高齢になってからでもいいかもしれません。

(松脇委員) コンサートの影響はどうか。

(榎園長) 動物は気になりません。動物は人間と聞こえる音域が違います。

(庄司委員) 夢見ヶ崎動物公園の周囲に住んでいる人との問題点はありますか。

(榎園長) 北側に水路がありますが、動物園の管理だったようです。その水路にゴミがたまっていると連絡がありましたので掃除をしました。カラスの巣をとってくれという連絡はあります。車がうるさいという人もいます。他には厳しい指摘はないです。

(神谷副部長) 動物園側は何も課題はないですか。

(榎園長) 南加瀬も北加瀬もどちらもありません。個人的に困っているのは竹の子堀りです。朝 5 時台に業者が来て敷地に入って、竹の子を勝手に採っていきます。

(沼田委員) 図書館の脇の竹やぶにも業者が来ます。

(佐藤委員) 急傾斜地はもうないですか。

(榎園長) 了源寺を直して最後と聞きました。

(佐藤委員) 出張所の先に駐車場があります。そこはどうなっていますか。園路と駐車場をエレベータでつなぐ方法はないですか。

(榎園長) 作れるかもしれませんが、かなりコストがかかります。擁壁に幅がないので、削らないと造れません。健常の方が歩く分には問題がないと思います。日吉出張所を建てたときに、擁壁を作りました。ゆくゆく直すなら良いでしょう。林になっていてかなり急ですが、他の人の敷地、民有地ではないです。

(佐藤委員) エスカレーターは道路が狭すぎて難しいです。

(榎園長) エスカレーターを整備するなら、町内会館のところだと思います。町内会館の道路は公有地だと思います。古墳があると聞いたことがあります。掘るのはいいですが、古墳が出ると工事がストップします。天照皇大神のところは難しいです。

(佐藤委員) エレベーターなりエスカレーターを作るには、日吉出張所の駐車場が一番いいでしょう。

(榎園長) 一気に上まではいけません。頂上にまっすぐ上がれる場所はないです。

(庄司委員) 新川崎側から上がりやすいところがよいです。

(榎園長) 七曲りがエスカレーターレベルで上がるなら良いです。了源寺の間を入ります。

(神谷副部長) そこに来るまでの道がきちんとしていないです。車が止められる場所があるとよいです。

(佐藤委員) そちらならバスが止まりますか。

(榎園長) バス停はないです。アクセスについては、エレベーターやエスカレーターを作るよりも駐車場がよいです。広場をつぶして駐車場にできるかが問題ですが、広場をつぶしても焼け石に水でしょう。

(佐藤委員) 交番の自転車屋のところをバスは曲がれません。

(榎園長) 元住吉から来るのは曲がれますが、帰りが戻れません。

(佐藤委員) 交番がなければ広くなります。

(榎園長) 交番がなくても鋭角なので難しいです。コミュニティバスのような小さなものなら曲がれ

ます。

(佐藤委員) 新川崎の交通広場から夢見ヶ崎までのバスができるとういいます。

(柗園長) 鹿島田発のものとは向から来るものがないといけません。

(佐藤委員) 新川崎と鹿島田駅前の交通広場を加味してシャトルバスを通すことをしないとダメなんです。

(柗園長) 頂上ではバスは曲がれません。4トクラスのコミュニティバスなら曲がれます。

(沼田委員) 頂上の三角部分を削れば、寿司屋の迎いのバスは中に入りユーターンして曲がっています。三角が小さくなれば曲がれます。了源寺の門まで車が入ります。

(柗園長) 道が狭いことと駐車場がないことが問題です。

(松脇委員) 太陽光発電は何キロワットですか。

(柗園長) 動物病院が平成19年3月にでき、クーラー、冷蔵庫、保温期など24時間つけっぱなしのものが多いので、太陽光発電をつけています。発電量は1キロワットです。

(松脇委員) もっと立派なものにして、PRにしてもよいでしょう。

(柗園長) 台数を増やせばいいです。据付型よりも効率がいいです。

(神谷副会長) 費用はどのくらいですか。

(柗園長) 400万円くらいではないでしょうか。

(庄司委員) 確か1キロワット100万円くらいと聞きました。

(柗園長) 据付だとそのくらいですが、回転するのでそれ以上かかります。畜舎の上や展望台につけないかといいましたが、加重で無理でした。

(神谷副会長) いろいろ話が聞けました。現状と課題を分けて考えようと思いましたが、次々に意見が出るので分けにくくなりました。この辺は、また企画課で整理してもらい、次までにしっかり何を進めていきたいのかを検討しましょう。

(佐藤委員) 整理するために話を聞いて、その上でフローを作成しましょう。

(松脇委員) 今と違った観点で理想的なものを考えて提案することもあります。そういう観点もあっていいでしょう。動物園の特徴を生かしながらは難しいですが、違ったコンセプトから降りていくこともあります。

(柗園長) 以前にも感じたのですが、できてから30年以上たちますが、動物園があり、客が来て、来た客に動物を見てもらおうことしかしていません。そうではない方法があるのではないかと考えています。夢見ヶ崎に来る客は、周辺では買い物はしません。年間20万人が来ます。その時に、客がどこかによって来るといいことがある、夢見ヶ崎に来てから商店街に行くといいことがあるということをしてできないでしょうか。そうすると、商店の方が夢見ヶ崎を向いてくれます。今まで、夢見ヶ崎を使って、いろいろなものを売っていたはずですが、以前は夢見ヶ崎の名前のついたお菓子もありました。こちらからアクションを起こしていないのでわかりませんが、地域と施設の連携のきっかけになるといいです。動物グッズで売れるものがあれば、引き合いもありますが、それをやっていません。直接商売に結びつかなくても、客と商店に接点ができれば解決の糸口になります。

障害を持たれている方、ベビーカーの方が上がってからも、車道はぼこぼこで園路がよくないです。その辺を整備しないとダメです。上まで来てもらうサービスを徹底しないとダメです。

(松脇委員) 車イスを押して上げるボランティアができるかも知れません。

- (柁園長) 降りるときがもっと大変です。そういったところをPRすることかもしれません。動物園の中を自由に車を入れられるのはここだけです。
- (佐藤委員) 通路はコルクでつくり歩きやすくしようなど、山全体をもう一度見直すことになります。
- (神谷副会長) 区だけでは予算的にも無理なので、市に動いてもらわないといけません。この会議でそこまで作り、後は市に飛びついてもらいましょう。
- (佐藤委員) 川崎市唯一の動物園なのだから、こうしようとするなら、区でできるもの、市でできるものがあります。区だけではこれだけのものはできません。声をあげていかないと、どうしても動物だけいけばいいということになります。
- (松脇委員) 観光協会にデータを与えて人が増えれば、潤うし金も出してくれるでしょう。
- (神谷副会長) 自分の子どもをベビーカーに乗せて連れて行った時と何も変わっていません。売店をきちんと整備し、売れるようになれば、公園緑地協会からの提供が増えるかもしれません。
- (松脇委員) 花見の時期にレストランをすれば人が入ります。
- (酒井委員) 地元の商店街に大きなスーパーができ、そちらに客をとられています。夢見ヶ崎商店街は、以前は大きかったです。
- (柁園長) 地元の商店街を優先するので、売手もあまり売らないというのがありました。ゆめみにゆーすの配布をお願いしているコンビニは花見の時期はいいらしいです。
- (神谷副会長) もう少し充実するといいです。
- (佐藤委員) 藤子・F・不二雄ミュージアムのような物があればすぐ解決します。
- (酒井委員) 地元がおとなしすぎるので、みんな他に持っていかれてしまいます。
- (松脇委員) コミュニティバスが通れば人の流れが変わります。夢見ヶ崎は幸区の持ち物ではなく、川崎市全体のものだと考えれば違ってきます。市全体が利用できるイベントなどのアイデアがあればよいです。一昨日の全国ニュースで、幸区のレッサーパンダが病気になったというのをやっていました。
- (庄司委員) 地元にとってプラスになる面と、市にとってプラスになる面の両方から遠望を持って、できるところから少しずつやってみましょう。子どもたちの参加など意見やアイデアをもっている人の参加で、進めていけると良いです。
- (佐藤委員) 小、中学生、大人も含めて、動物園をどうしたらいいか、意見をだしてもらおう会をすれば、われわれの発想できないようなことも出てきます。
- (松脇委員) 新川崎のマンションに人が増えています。あの人たちが行けばいいです。
- (沼田委員) キリンのような有名な動物は置けませんか。
- (柁園長) 飼えますが相当大変です。職員はキリンも象も飼ったことがないです。象はトレーナーが必要です。
- (沼田委員) 子どもたちに言わせると、さびしい印象だと言います。
- (柁園長) 私もそう思います。遠足で来る人には、名前を確認しても意味がない、動物をきちんと見てくれと言います。トラ、ライオン、キリン、象がいるのが普通で、欲しいですが、外柵をきちんとつくらないといけませんし、閉鎖しないとダメです。了源寺や熊野神社には移ってもらえないといけませんなど難しいです。
- (庄司委員) 以前、職員が撮影した写真の写真展を見て大変面白かったです。
- (柁園長) 職員の撮ったものはせせらぎ館や幸区で展示会をしました。今でもやる気になればできます。

- (庄司委員) 飼育員の人しか見られない瞬間の写真などが見られると面白いです。
- (佐藤委員) 事務所の中に骨があります。目の悪い人に触ってもらうのに、ライオンズクラブが寄付をしました。
- (榎園長) 今、レクチャールームの側に鹿と鴨が飾ってあり見ることができます。鳥と鹿の骨があるだけでも、動物が怪我をしたときに参考になるので助かります。
- (庄司委員) 近くの小学校との日常的な連携はありますか。
- (榎園長) 特定の小学校との連携は減らしています。今、少しずつ入れ替えをしていますが年間決まっているのは、日吉小学校くらいです。ゆめみにゆーすは現在11号です。職員のこと、イベントの案内、マンガなどが掲載されています。
- (佐藤委員) 町会の回覧板で回せばいいです。
- (榎園長) 印刷は自分たちでやります。カラー印刷で、近隣町会の掲示板に掲示しています。
- (神谷副会長) 小倉町会にも掲示板があります。
- (沼田委員) 観光協会にお願いすればいいです。
- (榎園長) 山の中にどういう町会があり、どこに行けば話がつくのか、引き継ぎがされていません。
- (神谷副会長) 町会は出張所に聞けばわかります。
- (榎園長) 係長と担当に話をして、ゆめみにゆーすを追加できるように考えます。
- (庄司委員) まず、皆さんに知ってもらうことです。
- (神谷副会長) 夢見ヶ崎の魅力をみんなに知ってもらいましょう。
- (事務局) 現状は今日の話や、前回視察していただいた中でわかりました。次回から議論できればいいですが、課題がいろいろあります。夢見ヶ崎公園をどう発信し、知ってもらうのか。アクセスの問題、園内の問題などあります。目指すべき方向性もあります。フロー図を使いながら議論しましょう。方策から逆に戻って課題を整理することもあります。議論が見える形で進めたいです。イメージとして今回はフロー図を配布しました。課題をまだ絞れていません。どういう方向で議論するのかを整理し、その上で方策や実施の上の課題もあり、そこでまとまったものが提言になるのかと思います。
- (神谷副会長) 今まででは自分の目線でしたが、また違った方向の目線が出てよかったと思います。
- (事務局) 次回は、7月17日金曜日の午後1時30分からですので、よろしくお願ひします。

以上